

住まう育む

住みかえのススメ

茨城エリアとは？

つくば～秋葉原を結ぶつくばエクスプレス。その沿線にあるつくば市、つくばみらい市、守谷市を「茨城エリア」と呼んでいます。

発行／2017年3月
 発行者／茨城県企画部つくば地域振興課
 ☎ 029-301-2798
 企画・制作／サンケイリビング新聞社東葛本部



豊かな自然と充実した教育環境、土地価格や都心までの好アクセスが魅力の茨城エリア。子育て世代が住みかえに選ぶ街として、人気が高まっています。

(写真左から) 1 春日学園のロボット授業(つくば市) 2 福岡環の桜並木(つくばみらい市) 3 陽光台小学校(つくばみらい市) 4 つくば霞ヶ浦りんりんロード(つくば市) 5 さくら坂 VIVACE(守谷市) 6 電線を地中化した街並み(守谷市) 7 セグウェイ(つくば市)



3市の
住みよさ
徹底解説！

つくば市 つくばみらい市 守谷市

かわら版

※1 東洋経済新報社公表「都市データバック」で日本全国の都市、813市区を対象に調査
 ※2 茨城県がつくばエクスプレス沿線の個人向け宅地分譲で販売した土地購入者の内訳

児童クラブは市内に

つくば市 **61**クラブ



校南児童館。保育所、児童館
 ことのプロも充実

放課後に児童を預かる「児童クラブ」は、つくば市内になんと61クラブも(公設公営18、公設民営20、民設民営23)。さらに市内小学校及び義務教育学校(つくば特別支援学校含む)38校で「放課後子供教室」も実施しています。

1人当たりの公園面積は

つくば市 **9.4**m²



研究学園駅前公園

つくば市内の公園は全175カ所、総面積は212万m²(茨城県営の公園含む)。1人当たりの公園面積は9.4m²もあり、都内の区部で約4m²、市部で約7m²と比較しても、広いことがわかります。
 ※2016年4月1日現在

つくばエクスプレス沿線・茨城エリアは、子育てファミリーが住みかえ先に選ぶ街として、近年注目のエリア。なぜ選ばれるの？その訳を調べてみました。

県外通勤者が

つくばみらい市 **66%以上**

30代、40代の子育て世代の人口が増加中のつくばみらい市。都心までのアクセスが便利のため、土地購入者の66%以上が県外へ通勤しています(※2)。



つくばエクスプレスみらい平駅

成長力ランキング

つくばみらい市 **全国2位**

成長力ランキングで2015年は全国1位、2016年は2位を獲得(※1)。特にみらい平駅周辺には、買い物に便利なスーパーがあり、また地区内2校目となる小学校が平成30年4月に新設される予定。住宅開発が進み、住みやすさが上昇中です。



みらい平駅周辺の街並み

全小中学校でエアコン

守谷市 **100%設置**



タブレットを使用したICT教育を推進

教育サポーターの一貫として、守谷市では全小中学校の普通教室にエアコンを100%設置。その他、70インチの電子黒板やタブレット、デジタル教科書などを活用したICT教育を実施しています。

子どもの人口増加率が

守谷市 **全国5位**



ママたちの活動拠点「FAMO(ファミモ)」では、さまざまなイベントを実施

若いママの多い守谷市は、子どもの人口増加率が全国5位、TX沿線では堂々の1位(※1)。「ママが活躍するまち」を目指し、才能豊かなママの活躍の場を創出しています。今後はママ目線で市の魅力を発信する活動も計画中。